記者発表資料

平成１８年１０月２７日
国土交通省東北地方整備局
津 軽 ダ ム 工 事 事 務 所

津軽ダム猛禽類調査と環境配慮ガイドラインについて

１．調査経緯

津軽ダム建設予定地周辺地域は、世界遺産である白神山地に隣接し、猛禽類の良好な生息場所となっております。

津軽ダム猛禽類調査においては、津軽ダム周辺における猛禽類の生息実態を明らかにし、ダム建設と希少猛禽類との共存を図るため、過去に行った環境アセスメントの追加調査として、イヌワシ・クマタカ・オオタカを対象とし、平成１０年より生息調査を実施しているところです。

特に平成１５年度からは、今後事業の本格化をにらみ、事業区域と猛禽類との関係を明らかにするため、猛禽類の営巣中心域、営巣期高利用域、非営巣期高利用域、９５％行動圏を解析する必要があるため、行動圏内部構造調査を行っております。

２．今年度の調査結果

平成１８年度のクマタカの繁殖状況は、全１３つがいのうち２つのつがいについて繁殖が成功したと考えられ、引き続き調査を進めているところです。

３．環境配慮ガイドライン（案）について

津軽ダム建設事業は、本体着工に伴う事業の本格的実施に先立ち、事業全体に係る希少猛禽類の保全を目的に配慮事項を定め、事業計画へ反映させるため、本委員会により「環境配慮ガイドライン」の作成を進めております。

本ガイドラインで対象とする種は「イヌワシ」「クマタカ」「オオタカ」及び「その他重要なワシタカ類」（種の保存法、文化財保護法、環境省及び青森県レッドデータブックに指定される種）としている。

ガイドラインでは、猛禽類の営巣地と工事箇所の位置、繁殖ステージと施工時期などを基に、配慮区域と配慮方針、配慮手順書、ペア別の配慮区域など定める予定であり、平成１８年度中に策定予定である。